

医療人材育成の急務のこと

平成30年6月7日（木）

いわき市の総合病院の建立が急がれています。あわせて、第二第三の総合病院も必要です。さらには、地域の個人病院の医師の高齢化も大きな問題であり、地域医療人材の育成の急務がささやかれています。

男子校10クラス時代は、学年で30人を超える医師人材を輩出していたことは事実です。歯科医師や薬剤師を含めるとその倍の数が磐城高校から育っていました。

現在、男女8クラス時代から7クラス時代へ突入しました。イノベーション・コースト構想におけるトップリーダー育成のためのスーパー・イノベーション・ハイスクールとして、医療人材を別立てにしてあげたことは、このような地域課題を解決しなければならないという使命感からであります。

6月14日と7月30日は、福島県立医科大学の出前講座が開かれます。また、7月8日は、福島県立医科大学でメディカルセミナー（看護）、7月28日、29日はメディカルセミナー（医師）に参加いたします。

看護人材、福祉人材を含め、次のいわきの社会体制に大きく関わる人材育成となります。暮らしやすい安心安全な町作りの根幹は人作りであることは間違いありません。

学習面の充実を始めとして、健やかな心身の鍛練と豊かな精神力の情勢を含め、今後も、様々な機関と連携し、多方面への地域人材育成を心がけて参ります。